



学指通信

Aさん・Bさん・Cさんは 教師全員で 継続して

入学して数日がたった頃、4Fの廊下は新入生であふれかえっていました。10分間の休み時間は、クラスを超えて、同小学校の友達と一緒にいるという、毎年見られる光景です。チャイム1分前に、A先生が7組の前から、「もうチャイムが鳴るぞオ～。教室に入りなさい。」と1組まで届く大きな声で叫ばれました。その瞬間、混雑していた廊下から新入生の姿は消えました。みんなAさん、すばらしいと感じました。



AさんもBさんもCさんも
みんなエライ(^-^)!

←自分で考えて動けます。

←先生に言われる前に気づく
ことができます=みんなが
注意しあうことができます。

←先生の言うことがきけ
ます。

- ①生徒たちでできていなければ、きちんと教師が管理する (Aさんにする)
- ②先生に言われなくても自分たちで声をかけあえる集団をつくる (Bさんにする)
- ③今何をすべきかを自分で考えられる力をもった生徒を育てる (Cさんにする)

授業でも、行事でも、生徒は自主的に考え、動いてこそ力をつけます。でも、それはいきなり、授業の場や行事の場で生徒に求めるのは無茶です。その力は、日々の当たり前前の場面で、「生徒の力を借りる」、そのため「生徒の力を出せる場を設定する」、そしてその中で「リーダーを育てる」、そういう日々の取り組みの土台があってこそできるものなのです。

「Aさん、Bさん、Cさん」の取り組みの意味は、1つはそれぞれの学年状況を見極めて時を失せず指導すること (A先生のように)。そして、もう一つは**教師みんなでAさんBさんCさんの取り組みを年間通して指導すること**です。これは、Aさん、Bさん、Cさんの取り組みは一人の教師ではできないからです。

特に2つめの意味は、みんなでしっかりとこの1年間取り組んで、みんなで学びあっていく必要があると思います (交流や研修)